

# 施策評価シート(令和3年度実績評価)

## 施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実		施策主管課	生活環境課		課長名	松原 弘明				
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています												
施策No	05	施策名	安全な水の安定的供給		関係課名								
施策の目指す姿	安全でおいしい水をいつでも利用しています												
現状と課題													
<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給水管や浄水施設など水道施設（管理者：岩手中部水道企業団）の適切な管理を行うため、国の補助金を活用しながら耐用年数を経過した施設の更新や給水改善のための工事を行っています。</li> <li>上水道が整備されていない水道未普及地域では、井戸水や沢水を生活用水として利用しており、場所によっては気象等に伴い水質の悪化や濁水が生じています。</li> <li>各家庭の事情や生活条件などの要因により、浄水施設等の設置が進まない世帯があります。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した給水管などの施設は、計画的な更新が必要です。</li> <li>水道未普及地域における安全な水の安定的な確保が必要です。</li> <li>浄水施設等の導入推進のため、継続的な補助金制度のPRが必要です。</li> </ul>													
前年度の評価の振り返り													
前年度評価時の今後の方向性													
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金制度を利用した浄水施設等の導入に関する意向状況の変化を把握するため、平成29年にアンケート調査により再調査したところであり、この結果をもとに、まだ浄水施設等を導入していない利用希望世帯への聞き取り確認や戸別訪問等により、制度のPRと浄水施設等の導入推進に努める。(希望世帯数：60世帯 96世帯(H29調査時))</li> </ul>													
反映状況													
新型コロナウイルス感染症の影響による仕事の減少に伴い、経済的負担の増加による辞退や、業者との設置工事の調整がうまくいかず、予定されていた残りの工事も見送った。													
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組													
<p>(1) 安定した水の供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手中部水道企業団による水の安定供給</li> <li>平成26年4月に統合した岩手中部水道企業団による広域的な水需要に対応した効率的な運営と安全な浄水の安定的な供給確保</li> <li>岩手中部水道企業団による水道施設の適切な維持管理や計画的な施設更新</li> <li>岩手中部水道広域化事業計画に基づく水道施設の更新に対する出資</li> </ul> <p>(2) 水道未普及地域の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道給水区域外の浄水施設等設置による生活用水確保支援</li> <li>浄水施設導入に向けた補助金制度のPR</li> <li>水道未普及世帯の対象者に対する制度の周知</li> </ul>													
2 成果指標													
成果指標名	成果指標設定の考え方		成果指標の測定方法			単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
浄水施設等設置率	水道未普及地域における世帯を対象に、浄水施設等の設置に対して支援した基数により、安全な生活用水の確保が図られているかの指標		住民アンケートの結果、浄水施設等の設置を検討している60世帯（平成30年度以降は96世帯）における浄水施設等の設置率			%	目標値	48.00	59.00	58.30	61.50	64.60	67.70
								実績値	49.00	56.30	59.40	59.40	
							目標値						
								実績値					
							目標値						
								実績値					

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「浄水施設等設置率」【達成度b】                      コロナウイルス感染症の影響もあり経済的負担の増加による辞退や、事業自体の進捗が大幅に遅れたことから事業自体が遂行出来なかった。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

<p>市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか</p> <p>なし</p>
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(水道未普及地域対策事業)                      本事業においては、工事担当となる施工業者と連携を図りスケジュール表を作成し計画的に進めていく必要がある。また、補助金制度の周知を図り安心安全な水質確保に努める必要がある。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>なし</p>

### 5 施策の総合的な評価

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を利用する場合でも、設置以降の施設のメンテナンスなどの維持費や補助金対象外の経費は自己負担となるため、各家庭の事情や生活条件などの要因により浄水施設等の設置が伸び悩んでいるが、水道未普及地域の住民に対する安全な水の供給のため必要な事業であることから、引き続き制度の周知に努める必要がある。</li> <li>・申請予定者の家庭事情により施工できない場合があることから常に状況を聞き取りし、スケジュールを管理する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金制度を利用した浄水施設等の導入に関する意向状況の変化を把握するため、平成29年にアンケート調査により再調査したところであり、この結果をもとに、また浄水施設等を導入していない利用希望世帯への聞き取り確認や戸別訪問等により、制度のPRと浄水施設等の導入推進に努める。(希望世帯数：60世帯 96世帯(H29調査時))</li> <li>・施工業者や申請者と打合せを行いスケジュール表を作成し計画的に事業を行うことに努める。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
	事業内容(活動実績)		直結度		
010	<b>水道未普及地域対策事業費</b>	生活環境	間接・少数	直結	B
	未普及地域における浄水施設等の対象施設の工事費の9割(上限270万円)を補助	令和3年度実績0件			
			B		